



発行者  
諫早市立真城中学校  
校長 山内 昇

## 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

## ○ 教育課程柔軟化サキドリ研究校について【お知らせ】

本日、長崎新聞でも報道されていまして、真城中が、文部科学省の「**教育課程柔軟化サキドリ研究校**」に指定されました。令和8・9年度の2年間の指定です。

この取組の主な目的は、子どもたちの1日の生活の在り方について見直し、学校での学習や運動等はもちろん、睡眠や食事など、成長期の子どものたちにとって必要不可欠な時間を保障するためです。先日も、学校保健研究大会で、子どもの睡眠についての講演が実施されました。本校でも、メディア安全教室の中で、睡眠の重要性についてお話をいただきました。あの大谷選手も睡眠時間を確保していることで有名です。そのために、研究指定を活用し

て、**学校の日課、授業時間等の見直し**を行います。あわせて**授業時間の短縮（45分授業）**も行いますが、ICT（タブレット端末や学習ソフト等）の有効活用な工夫によって、生徒の学力を確保できる取組を推進する計画です。また、家庭学習の充実など生徒の主体的な学びをサポートする時間や、総合的な学習の時間の拡充によって、ふるさとのよさを実感できる取組を増やすなど、この研究指定を機に、さまざまなことにチャレンジしたいと考えています。

来年度に向けた試行期間として、**25日（水）から、新しい日課を実施します。**それに伴い、朝の登校時刻、下校時刻も変わります。新しい日課は次ページに掲載していますのでご確認をお願いします。睡眠時間の確保、朝食をしっかりと食べて登校してほしいという願いから、始業時間を8時15分としています。ご確認をお願いします。

また、本校が取り組む教育課程の柔軟化は、次期学習指導要領からはすべての学校が取り組むことができるようになる予定です。本校の取組が、他の学校へと広がる可能性もあります。諫早市内のよい先行事例となるよう、しっかりと研究に取り組んでいきたいと考えています。

## 授業数増減 小中32校を指定

文部科学省は19日、次期学習指導要領で柱の一つとなる、各教科の授業時間数（コマ数）を一定程度増減できる「調整授業時間数制度」を先行的に実施する研究校に、本県の5校を含む国立公立の小中学校33校を指定したと明らかにした。2026年度からの2年間の指定している。事業の名称は「教育課程柔軟

### 文科省が先行実施へ

### 本県は真城中（諫早）など5校

化サキドリ研究校」。教科ごとに10%程度を上限に減らすことができ、新設の教科に使ったり、教育活動や教員の研究などの「裁量的な時間」に使ったりできる。次期指導要領は30年度から順次始まる見込みで、先行事例を

審議して円滑な導入につなげる。指定されたのは国立13校、公立319校で、学校種別は小学校205校、中学校117校、義務教育学校10校。諫早市立真城中では、情報通信技術（ICT）を活用した教員の研修を実施し、短縮授業で

長崎新聞（2月20日）

なお、本校の研究の取組については、文部科学省のHPでも紹介されています。

[https://www.mext.go.jp/content/20260219-mxt\\_kyoiku01-000047485-11.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20260219-mxt_kyoiku01-000047485-11.pdf)

<p><b>教科の新設</b></p> <p>〔奈良県広陵町立広陵中学校〕 『広域探究』を新設し、社会科学で学ぶ地域の学習をベースに、さまざまな資料や情報収集・比較して、広域的課題を考え、より広い視野を拓くにはどうしたらよいかを生徒が主体的に探究する。</p>	<p>〔福島県いわき市立広葉第一小学校〕 「しよわけ探究科」を新設し、素人レベルの中で育成の必要性が明確になりながらも、道徳科の枠組みでは十分に扱えないさまざまな資質・能力（主体的行動力、レジリエンス、ボランティア精神等）を明確に位置付けて、地域課題と結び付けた独自教材として開発する。</p>
<p><b>裁量のな時間（学習枠）</b></p> <p>①個に応じた学習過程の充実に資する取組 〔例〕個別最適な学びを実現するための自己課題の発見および解決を行う。〔岩手県滝野市立滝野東中学校〕</p> <p>②学習の基地を高める取組 〔例〕すべての学年に1コマ30分の「たまたまタイム」を設定し、E・S・D等の個人の探究やそれをねらいとした体験活動等を行う。〔東京都多摩市立多摩第一小学校〕</p> <p>③関係性の質を高め、学習の一層の円滑化に特に資する取組 〔例〕互いの思いや個性を認め合い、多様な他者と人間関係を形成するため、話すこと・聞くことなどの伝え合う力を育成し、協働してよりよい学校生活を送っていくとする態度を育む。〔兵庫県川西市立河東小学校〕</p> <p>④その他地域等の特色を生かした取組 〔例〕創立100周年を2年間に跨ぎ、学校の歴史調べ、地域の伝統文化の体験学習等を行う。〔川崎市立幸町小学校〕</p>	<p><b>裁量のな時間（研究・研修等枠）</b></p> <p>①質の高い授業を効果的に実施するための教材研究・授業研究 〔例〕ICTを効果的に活用した事例研修を行い、45分授業においても従来の50分授業と同等の学習効果を生み出すための工夫を共有・実践する。〔群馬県群馬市立真城中学校〕</p> <p>②教師の資質・能力の向上を図るための学校・教育委員会が企画する研修 〔例〕子どもの「問い」から起まる、子ども自ら主体的に学ぶ授業研究を行う。講師や経験豊富な先進教員から指導を受け、ともに学び、新たな指導法、授業づくりを研究する。〔徳島県河津市立吉井小学校〕</p> <p>③児童生徒理解の向上など、学習・指導上の課題解決に資する情報共有・協議 〔例〕学校全体はもとより、低学年部、中学年部、高学年部の各ユニットの時間として、チーム担任制、教科担任制の連携、完全理解と支援についてチームとしての共有・協議を行う。〔京都市立桂小学校〕</p> <p>④学校と地域との連携体制の確保 〔例〕総合的学習等の時間において、地域の企業・大学等と連携し、この視点を「未来にあった学び」に思うに「ディベロップ」を構築・創造する活動に取り組むことから、教職員研修として、社会の多様な専門性を教り入れた研修の充実を図る。〔広島市立地蔵小学校〕</p>

☆ サキドリ研究校実施に向けた新日課（試行）

登校	～	8:15
短学活	8:15 ～	8:25
1校時	8:35 ～	9:20
2校時	9:30 ～	10:15
3校時	10:25 ～	11:10
4校時	11:20 ～	12:05
給食	12:05 ～	12:40
昼休み	12:40 ～	13:25
5校時	13:25 ～	14:10
6校時	14:20 ～	15:05
掃除	15:10 ～	15:20
短学活	15:25 ～	15:35
下校	15:35	

※ 日課の見直しにより、登校時刻を変更しました。

帰りの短学活終了時刻が早くなるので、部活動終了時刻、完全下校の時間も見直します。

これにより、帰宅の時間～夕食の時間～読書や自主学習の時間の確保～十分な睡眠など、ご家庭と連携しながら、子どもたちにとって望ましい生活について共有していきたいと考えています。

そのために、学校の日課（枠組み）を変えていくことが必要だと考えています。保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

## ○ 美術作品の紹介【2・3年生】

2・3年生が美術の時間に制作したステンシルのサインボードが展示してあります。センスのよい作品ばかりで目を引きました。部活動をモチーフにしたものや、自宅等ですぐにも使えそうな実用的なものなど、工夫された作品に感心しました！



## ○ 今日の給食 (19日)



19日(木)の給食は、**ハヤシライス**、**白菜とりんごのサラダ**、**ヨーグルト**、でした。ハヤシライスは、手作りのルーで、とても優しい味でした。市販のルーでは出せない、給食ならではのハヤシライスでした。サラダもドレッシングの酸味が程よく、ハヤシライスとの相性も抜群でした。給食のサラダにはフルーツ(リンゴ・パイナップル・みかん)が入ることが多いのですが、子どもの頃からなぜか嬉しい気持ちになります。デザートにヨーグルトまでつく豪華なメニューでした。

今日から2年1組も登校しています。全校生徒で美味しい給食を楽しみたいと思います。